

阪急山本から生瀬まで 宝塚の巡礼街道を歩く

第 112 回武庫川エコハイク
2016.9.10 エコグループ・武庫川

宝塚巡礼街道 平安時代、花山天皇により創設されたと伝えられる観音霊場巡りの道で、那智青岸渡寺(せいがんどうじ)を1番札所とし、岐阜華厳寺に至る三十三ヶ所、中山寺は24番札所で、23番勝尾寺から25番清水寺に至るまでの道路を巡礼街道と呼ぶ。江戸時代以降、一般民衆の間でも巡礼信仰熱が高まり、人々が行き交うようになった。その巡礼街道が今も長尾連山の山麓に当時の面影を残しているのは、近隣でも宝塚市だけであり、史跡としても貴重な資産が山本から清荒神一帯に残る。

阪急山本駅 明治43(1910)年箕面有馬電気軌道開業と同時に開設。

山本 地名は長尾山系のふもとにあることから。日本3大植木産地(埼玉川口の安行、九州久留米)の一つとされるが最近では地域の開発が進み流通が中心となっている。

最明寺川 猪名川の支川で二級河川。川西市愛宕山付近が源流。

①**木接太夫(きつぎだゆう)彰徳碑** 平安時代から代々坂上家が花木の栽培を行ってきたが、安土桃山時代に坂上善太夫が接木の技術に優れていたため、太閤秀吉から「木接太夫」の称号を与えられ、それを顕彰して大正元(1912)年に建立。

②**松尾神社** 坂上田村麻呂を祭神として田村の森に創建。その後京都松尾大社の分社として再興されたという。社殿は一間社流造りで市指定文化財。

③**山本園芸流通センター** この地区の園芸流通センターで、山本園芸の起源といわれるボタンが敷地内に植えられている。福島県須賀川のボタンも里帰りしている。

庚申塔と弘法大師像 庚申塔は元禄16年(1703)建立の古いもので除災無病、罪科消滅のご利益があるという。弘法大師像はもここにあった泉流寺観音堂前にあったもの。

⑤**泉流寺** 奈良時代三十三観音が選ばれるとき観音様が眠ってしまわれ、33ヶ寺から漏れたことから本尊は「眠り観音」で知られ、眠りに関する悩みや、病に苦しむ人々を救ってくれる観音様として信仰を集めた。昔は大伽藍があったが今は観音堂が残る。木造十一面観音菩薩立像は市指定文化財。

④**正念寺** 明治14年まで念仏道場。元禄時代に山本の富豪坂上氏が名妓吾妻太夫を寵愛したが、氏の没後尼になり菩提を弔いつつ道行く人に湯茶を振舞ったという。

⑥**行基の投げ石** 奈良時代の僧行基がこの辺りの通りすがり通行の邪魔になっていた大石を杖で投げ飛ばしという伝承の石。天満神社の東にある。そばにイチイガシの大木がある。

⑦**天満神社** 本殿は一間社春日造で、寛文5年(1665)再建されたと伝えられる。松尾丸社お旅所の場所でもあった。トントコ祭が有名で、5年ごとに行われる。本殿は市指定文化財。

天神川 武庫川の支川で2級河川。源流は五月台上部の長尾山系で、天王寺川と合流し尼崎市と伊丹市の市境下流で武庫川に合流する。

中筋のしだれ桜 中筋の天神川沿いにあるしだれ桜2本がある。正式には平安桜という。樹齢50年以上見事に花を咲かせていたが、近年樹勢が衰えている。

足洗川と勅使川 中山寺の西側を流れる足洗川は聖徳太子の馬の足を洗ったといわれ、東側の勅使川は用明天皇(一説に応神天皇)の勅使が渡ったとされる。

⑧**中山寺** 聖徳太子が仲哀天皇の先后大仲媛とその子忍熊王の鎮魂のため創建されたと伝えられる。当初は現在の奥の院付近にあったが、荒木村重の乱の兵火に会い、秀吉の菩提を弔うため秀頼が現在地に再建した。大門、本堂は当時のもの。また、わが国初の観音霊場で後に三十三観音霊場24番札所になる。境内には白鳥塚古墳があり、古墳時代後期の横穴式石室を持つ。忍熊王の廟とも伝えられ、かなり位の高い人物のものと思われる。本尊は木造十一面観音菩薩立像で国指定文化財。安産の寺として有名。

⑨**市杵島姫神社(いちきしまひめ)** 慶長8年(1603)創建、もともと中山寺寺域にあったものを明治4年にこの地に移された。祭神は市杵島姫命で海上守護神。別に弁財天とも呼ばれ、七福神の一。

⑩**中山荘園古墳** 中山寺の西約400mの山中にある。周囲に八角形の外護列石を持ち、主体部は横穴式石室。終末期の古墳。国指定史跡。写真は宝塚市教育委員会による。

勅使川・足洗川 中山寺の旧社寺林を源流とする勅使川、足洗川はJR線の南側で合流し天王寺川となる。武庫川水系二級河川。

⑪**黙想の家** 売布神社の東側にあり、静かなたたずまいのこんもりとした森の中に黙想の家がある。邸内に入ったところにキリストの彫像がある。修道院もある。

⑫**売布神社** 推古天皇の創建されたとされる延喜式内社、一時郷社で貴布禰神社と呼ばれていたが、江戸時代に大岡越前守の命により調査に携わった並河誠所により延喜式内社の売布神社であることがわかった。

⑬**旧橋本関雪別邸** 明治から昭和初期に活躍した日本画家橋本関雪(1883-1945)のもと別邸。広い邸内に多くの石仏や塔があり冬花庵と呼ばれる。現在は民間企業が所有。

⑭**清荒神参道** 清荒神駅から清荒神の鳥居前まで約1km ゆったりとした登り坂の狭い道の両側に多くの店屋が並び、レトロな買い物、雰囲気を楽しめる。右は巡礼街道分岐

清荒神清澄寺 荒神さんの名前で親しまれる、蓬萊山清澄寺。宇多天皇から「日本第一清荒神」を賜り、かまどの神様として有名。境内に鉄斎美術館がある。

有馬街道 清荒神参道入り口の鳥居の前で有馬街道と交差する。以下は有馬街道を歩く。

荒神川 中山寺奥之院付近を源流とする武庫川支川の二級河川。

一後(いちご)川 武庫川支川の二級河川。中国道北側の調整池が起点。

惣川 十万辻付近を源流とする惣川が生瀬橋下流武庫川左岸に合流する。一般河川。

生瀬橋 江戸時代は武庫川下流に架かる唯一の橋。浄橋寺創建伝承によれば、証空上人が有馬温泉に向かう途中賊に会われ、上人は賊を諭されて急流で橋のない武庫川に橋を架け、利用する旅人から通行料を取って生計を立てるように言われた。賊たちは改心し、ここに橋を架けた。上人はこの橋を「浄橋」と名づけられたと言う。

⑮**浄橋寺** 浄橋寺は鎌倉時代嘉禎4年(1238)善慧坊証空上人により創建された。

生瀬宿 江戸時代有馬街道、篠山街道の宿場町。阪神淡路大地震で古い建物は崩壊。

生瀬 江戸時代、有馬街道、篠山街道の宿場町、JR生瀬駅はもと阪鶴鉄道の駅で明治40(1907)年の開通時には有馬口駅、有馬温泉への入口でもあった。武庫川で獲れた鮎を使った鮎寿司を淡路屋が売り出した。